

帯広市立栄小学校 学校便り

さかえ



平成 29 年 11 月 22 日 校長 木下 剛

【H. 29 学校経営の重点】

『明日(未来)へつなぐ』
～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ】

★はげめ 勉強！

★ひびけ 挨拶！

★みがけ 清掃！

★ 第2回 栄小学校公開研究会 を終わりました ★

11月17日(金)、帯広・十勝の教育関係者約120名がお越しください、本校の第2回公開研究会を開催しました。『自ら考える力を身に付け、確かな学力を育てる』～自分の考えをもつことができる授業づくり～のテーマのもと、全学級で授業を公開し、授業後には分科会(授業についての話し合い)をもちました。

公開研究会は学校を開く手段のひとつです。これまでの教育研究の成果について説明責任を果たす場であり、様々な視点からご意見をいただき広く検証する機会でもあります。当日は、各担任の入念な授業準備に応え、子ども達は普段以上の力を出して学習していたように思います。わずか1時間の授業でしたが、当日に至るまでの過程こそが重要です。教職のプロとして授業の腕を磨くことは、必ず子ども達の人間的な成長につながるものと信じ、今後も研修を深めて参ります。

以下は、当日の各学級のひとコマです。



1年1組



1年2組



きらら



2年1組



2年2組



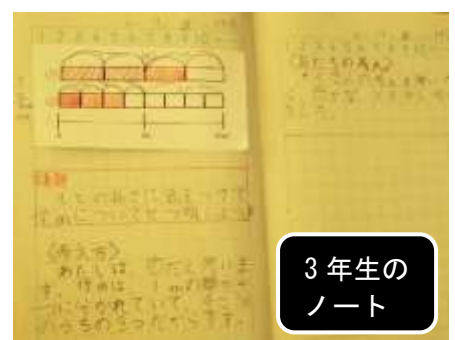
2年3組



3年1組



3年2組



3年生のノート



参観者より以下のようなご意見・ご感想をいただきました。一部紹介します。

- ◇どの学級でも、黒板の使い方やノートの書かせ方が統一されているのが素晴らしかった。授業の進め方が明確になっている。
- ◇板書の量や分かりやすさも適切で、「かく活動」が充実していた。
- ◇問題から課題への手順がスムーズで、授業のつかみが分かりやすかった。また、最後の定着問題までしっかり取り組めていることが確かな学力という主題につながっている。
- ◇ノートのルールがよく徹底されていた。また、子ども達の反応から、ICTの重要性を強く感じた。
- ◇中学校でも小学校とのつながりを意識した指導を徹底することが、深い学びにつながると思った。

- ◇教室の雰囲気がよく、時間いっぱいまであきらめずに考えている子ども達を見て、学習意欲や見通しをもたせ日々取り組んでいると感じた。
- ◇ノート作りをはじめ、授業の流れや学習常規がしっかり定着していたので、子ども達は迷うことなく課題解決に向かうことが出来ていた。
- ◇(つくしんぼ)学年が違い、発達段階もそれぞれな子ども達とゴールに向かって学習している姿が印象的だった。
- ◇(きらら)一人ひとりの育ちを大切にしたい関わりが授業の中にたくさん見られた。また、教室内の掲示が見やすく、なかでもカレンダー作りはとても良い数字の学習になると思った。勉強になりました。

児童玄関は午前8時10分に開きます

本校の日課表では、児童の登校は8:10~8:25となっています。したがって、玄関を開ける時刻は8:10にしています。子ども達の登校の様子を見ていると、早く来すぎて30分近くも玄関前で解錠を待っている子もいます。最近、朝の冷え込みが厳しくなっていますので、外で待つ時間が少なくなるよう(8:10を少し過ぎたくらいに学校に着くくらいがちょうどいい)、家を出てくる時刻調整をお願いしたいと思います。また、寒さを防ぐ服装にもご留意くださるようお願いいたします。